

日頃より本校の教育活動にご理解とご協力をいただきまして、ありがとうございます。

明日7月22日実施予定でありました、部活動保護者会に関しまして、会合の形を取りやめ、各部活動よりの資料配付の方法へと変更させていただきました。急な変更となりまして、大変ご迷惑をおかけいたしましたこと、誠に申し訳ありませんでした。おわび申し上げます。

1年生の仮入部期間も終了し、本日の各部への資料配付を経て、本年度の部活動が正式にスタートいたします。令和2年度は運動系12、文化系5の17部で活動をしていきます。

学校の通常の生活は 所属している学年、クラスなど同年代との関わりが中心となりますが、部活動は六中に在籍している年齢の異なる者同士、あるいは同学年の者同士が同じ活動を通して、互いに努力し、それぞれの体力や技術を向上させ、豊かな感受性を育み、そして相手を尊重するなどの心の育成にも寄与しています。中学生という青年前期のこの成長期にはとても有意義な活動だと考えます。純粋にその活動の技術を追求し、高める、その競技で成果を上げるための活動とは違います。そこがスポーツクラブなど外部の機関と異なり、学校で行われる部活動というものです。

ぜひとも、多くの生徒が自分の興味、関心に応じ、部活動へ参加していただきたいと思います。

次に、部活動は、教育課程外の活動、教科外活動に位置付けられています。つまり、「必ずしも実施をしなければいけない活動」とはなっておりません。前述いたしました、大きな教育的効果や役割があるからこそ、この活動を行っています。ただし、顧問となっている教員は けっして、そのスポーツやその活動の専門家や経験者というわけではありません。教職員は部活動の指導経験によって学校に配置をされるわけではなく、教科の種別によって配置されます。〇〇部顧問となったことで、少しでも良い活動ができるように、担当となった部活動の活動内容や指導方法について、講習会へ参加するなどして自ら学び、本来の校務の進捗状況などを調整するなどして、活動の時間を工面するなどの最大限の努力をして部活動を運営しております。ちなみに教員の勤務時間の終了は16時50分です。それ以降は勤務時間外になります。管理職側から部活動の運営のため、顧問の依頼をし、それを受けてもらっているのが現状です。

なぜ、顧問を引き受け、部活動を運営してくれるのか・・・その理由は、部活動にたずさわる教職員、外部指導員の方々が子供たちに良き活動の場面を作ってあげたいという思いから出ています。六中の場合は、管理職として本当にありがたいことに全教員、関わりもってくれる方々が自己の状況に合わせ、協力をしてくれています。その点をぜひとも、ご理解していただきければと思います。

次に二つ目として、昨今、働き方改革、生徒たちの健康面などの配慮などの必要性から、小平市部活動活動基本方針が制定され、実施の際の条件整備も行われました。本校でもその方針にしたがい部活動を運営しています。

最後の三つ目です。部活動を適切に運営していくためには、保護者の方々のご理解とご協力が何より必要です。これがもっとも重要な点となります。部活の活動日数・時間、活動内容、部費（経費）などそれぞれの部活動によって大きく異なっております。入部をする部活動の内容をしっかりとご確認いただきまして、お子様をご参加させていただきますよう、よろしく願いいたします。

最後に本年度の今後の動きについてお話いたします。東京都中学校体育連盟からの通達により新型コロナウイルス感染症の防止対策のため、現在、運動部活の対外試合に関して実施が認められているのは、都大会などの大会が中止となってしまった3年生のための代替試合のみが許可されているのが現状です。決して部活動の活動が全面的に元の状態にもどった訳ではありません。1・2年生が参加する秋の新人戦などの実施は未定となっています。文化系部活動のコンクールなども同様です。今、しばらくの間は練習試合などの諸活動に制限がありますので、ご理解ください。

本年度、教職員一同、良き活動ができますよう取り組んで参ります。よろしく願いいたします。